

生徒がオリジナル商品を
企画・販売する中で

人間的な 資質も養いたい



「いいものだから」という理由で
買っていただくことが目標

3年前より周南市の商店街において、我が校の商業科の生徒によるオリジナル商品の販売実習を行っています。高校生が何かやっているぞ、ということが話題となり、地域の活性化にもつながれば…との思いもありました。どんなオリジナリティをそこに付けるか…と考えたとき、「商品包装」に着目し、贈答用の鉢花というアイデアが出てきました。これが好評で、2年目には「じゃあ新しい商品を」と、本校の卒業生であり保護者でもあるパティシエの方にご協力いただいて、地域の特産品「イチゴ」と「ナシ」を使った高級ジャムづくりが実現。これまた大好評で、さらに3年目は地元のお年寄りが手作りしたお正月飾りを、生徒がアレンジして商品化していく試みへ…と展開していきます。

様々な人々と係わる中で、最初は不器用だった生徒たちもだんだん販売員と

してスキルアップし、また先生に教わるのではなく、自然と「いらっしやいませ」「ありがとうございます」もいえるようになる。これは地域の方々が育ててくださっているんだなあ、と痛感します。とかく商業科は資格をたくさん取るのが目的と思われがちです。それも大切なことだけれど、人間的な資質もしっかり身につけていくことも大切なはず。だからこの活動を続けていくんだ！と、これは声を大にしていえるでしょう。

昨年は下関商業高等学校と共同で、模擬株式会社設立から資金調達、運営、株主総会、解散までの会社経営の諸活動を体験学習する取り組みも行いました。

まだまだ「高校生だから買ってあげよう」というやさしい方々に支えられている気もします。今後は「いいものだから欲しい」という理由でもっと買っていただけるように…それを目指して、先輩から後輩へ活動の灯をリレーさせていきたいと思えます。

Selection 50

山口県桜ヶ丘 高等学校

School Data

山口県周南市公園区5626-1
TEL 0834-21-0331
<http://www.y-sakuragaoka.ed.jp>

- 創立 1940年4月
- 生徒数 595名
- 取組内容 商業科の高校生による、地域の特産品を使った商品や包装技術を活かした商品の開発、および商店街での販売実習。他校と連携した模擬株式会社の設立、運営なども。

■コメントは、進路部就職指導係 緒方奈津子 教諭です